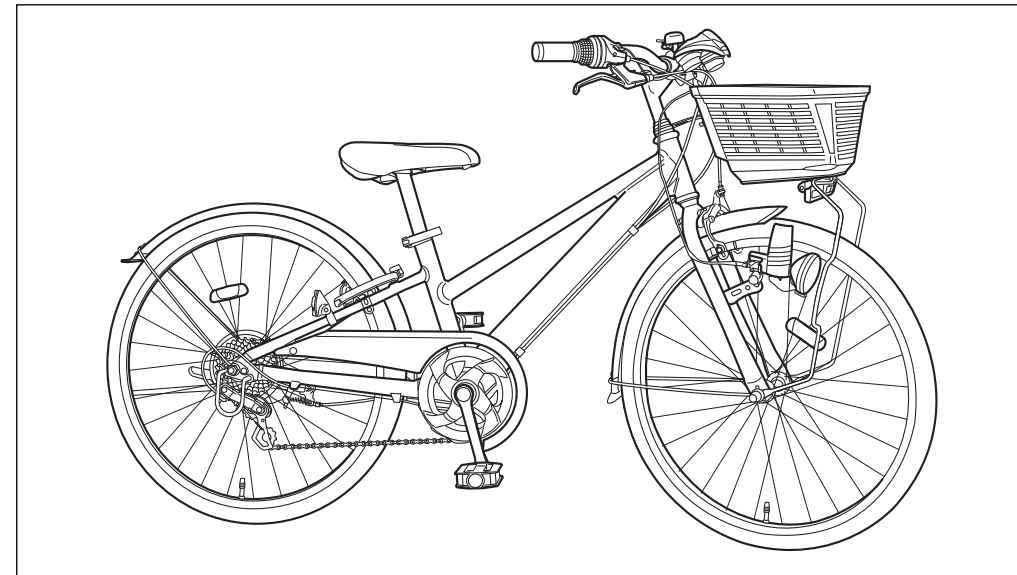


取扱説明書 子供用自転車

ライトクロス

品 番 B-LX26E
B-LX46E
B-LX66E



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック サイクルテック株式会社（およびその関係会社）は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理・取扱い・手入れなどは**まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

東 北 地 区 (022) 382-7791 東京・関東地区 (0422) 34-4117
埼 群 ・ 新 潟 地 区 (0480) 93-8071 栃 木 ・ 茨 城 地 区 (0286) 52-5046
中 部 ・ 東 海 地 区 (0568) 72-6231 近 畿 地 区 (072) 975-4100
中 国 ・ 四 国 地 区 (082) 870-7776 九 州 ・ 沖 縄 地 区 (092) 621-8811

※受付時間 平日（土・日・祝日および年末年始等の連休を除く）9:00～17:00

※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室（下記）におかけなおしてください。また、Fax をご利用される場合も当社お客様相談室にお願いいたします。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室
Tel : (072) 977-1603
Fax : (072) 977-5611
受付時間 9:00～20:00

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2～7ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- 保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

- この自転車は、通学、買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- 安全のため、ヘルメットを着用してください。
- 万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- 必ず、販売店で**防犯登録**の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）
- この自転車は、幼児用座席を取付けることはできません。

保証書別添付

もくじ

乗るまえに	
●安全上のご注意	2
●各部のなまえ	8
●乗るまえの点検	10
●乗るまえの調整	12
●正しい取扱い方法	15

必要なとき

●お手入れ／保管／廃棄	21
●注油について	22
●定期点検	23
●盗難補償／アフターサービス	24
●自転車安全基準／BAAマーク	25
●仕様	26

安全上のご注意（１）

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

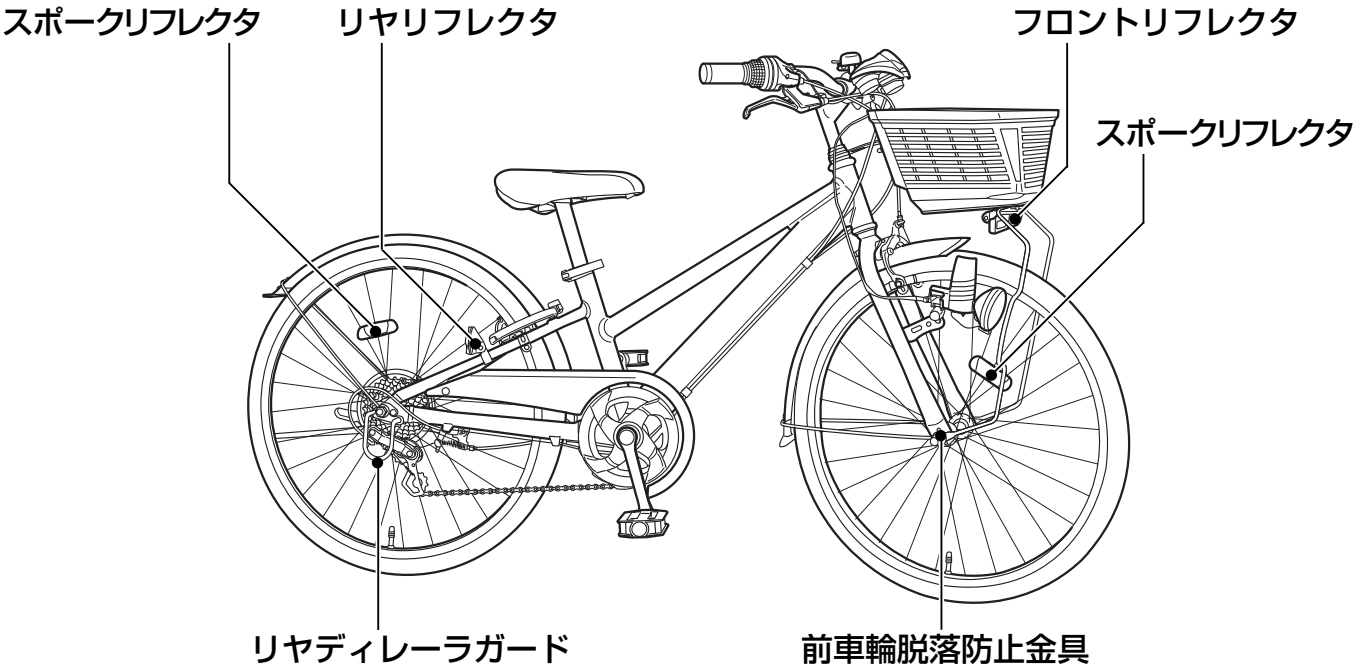
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

			してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。		
	気をつけていただく内容です。		

■ 保護者の方をお願い

- この取扱説明書を必ずお読みになり、お子様に正しい乗りかたをご指導ください。
- お子様がブレーキを操作することができることをご確認ください。
- 両足が地面および下に回したペダルに確実にについていることをご確認ください。
- 一般道路など車両（自動車・自転車など）通行の多い場所では乗せないでください。特に曲がりかどからの飛び出しには注意させてください。空地や公園など安全な場所で乗るようご指導ください。
- 使用時は十分なご注意を願うと共に安全のため必ずつきそってあげてください。
- 坂道は上り、下りとも危険です。坂道では遊ばせないでください。
- 坂道や周囲に迷惑のかかる場所での駐輪は、やめさせてください。
- 交通安全のため、交通法規を守るようご指導ください。
- ヘルメットを着用させてください。
- 前輪錠は取付けられません。



**警告**

■悪路荒野での使用はしない

 転倒するおそれがあります。

●この自転車は一般（普通）道路専用です。

■分解や改造はしない

 部品が破損したり、外れて転倒し、けがのおそれがあります。

分解禁止

■ハブステップなどの突出物を装着しない

 歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

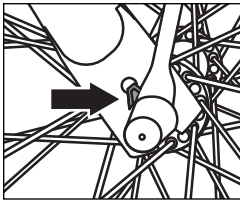
ハブステップ

■安全装置は取り外さない

 外したまま使用すると、事故発生の原因になります。

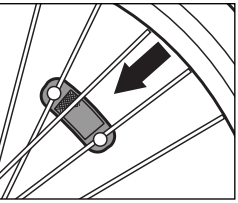
■安全装置

前車輪脱落防止金具



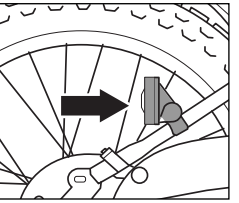
前車輪の脱落を防止します。

スポークリフレクタ



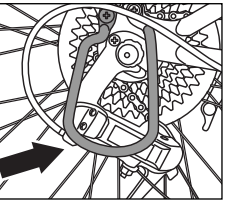
横からの光を反射します。

リヤリフレクタ（後部反射器）



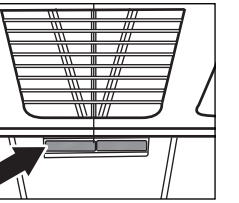
後ろからの光を反射します。

リヤディレーラガード



衝撃によるリヤディレーラの破損を防止します。

フロントリフレクタ（前部反射器）



前からの光を反射します。

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
（リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。）

乗るまえに

乗るまえに

安全上のご注意 (2)

必ずお守りください

■ 乗るまえに

まず体に合わせてください

- 図のように販売店で調整してもらってください。
- 操作して確認してください。
 - ① 円滑なペダリングができる。
 - ② ブレーキや変速機が確実に操作できる。
 - ③ ハンドル操作が容易にできる。



ペダルはつま先で踏む 両足が地面に着くように

必ず点検をしてください

- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
- わからないときは販売店に相談してください。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。



安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)

- ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
- 児童(13歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



乗る練習は必ず行ってください

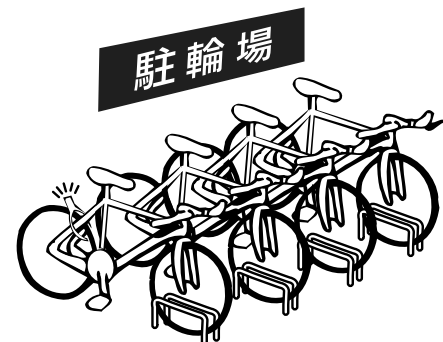
- 練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
- よく練習してから一般道路でお乗りください。



■ 乗ったあとは

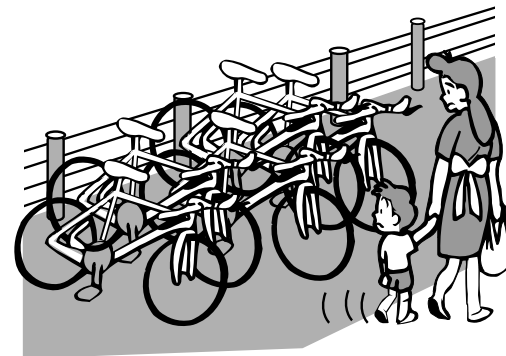
決められた場所に駐輪してください

- 駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



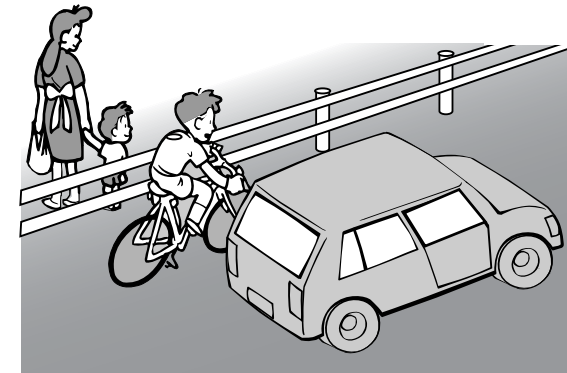
■ 自転車の交通安全ルールを守りましょう

(幼児、子供車に限定せず一般としてのルールを記載しています。)

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

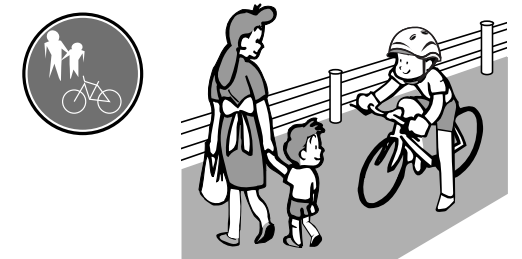
自転車は、車道通行が原則です

- 歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



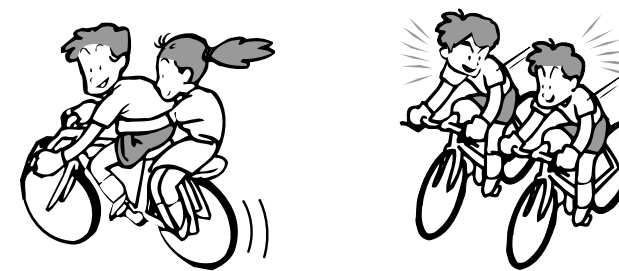
次の様な場合は、歩道通行ができます(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

- 自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
- 運転者が児童、幼児等の場合。
- 車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。



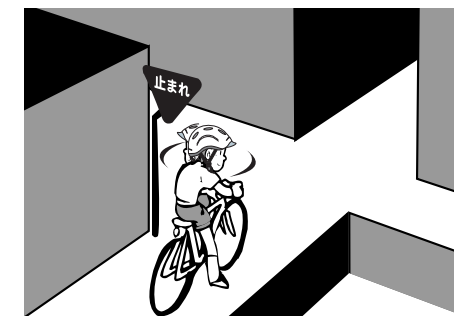
二人乗り、並進は禁止

- 6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
- 「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。



交差点では一時停止と安全確認を

- 一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
- 信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



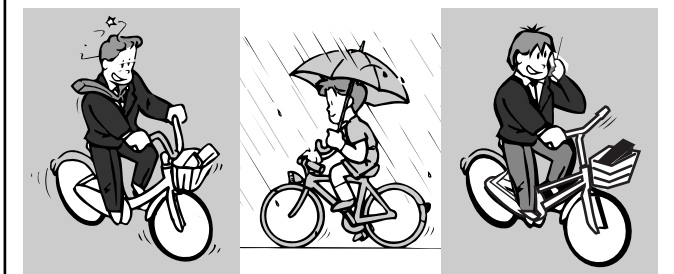
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

- 夜の無灯火運転は交通違反です。
- 暗いところではライトを点けて通行しましょう。



次の様な運転はやめましょう

- 飲酒運転
- 携帯電話を操作しながらの運転
- 傘さし運転
- ヘッドフォンを使用しながらの運転



安全上のご注意 (3) 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

(幼児、子供車に限定せず一般としてのルールを記載しています。)

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！

安全を確認し、乗りましょう

車の横を走る
ときに！



開くドアや人の飛
び出しに注意する



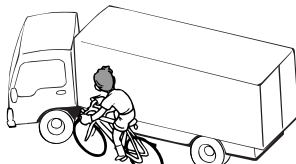
学校や公園が
近くにある
ときに！



子供の飛び出しに
注意する



交差点を通る
ときに！



左折車に巻き込ま
れないように注意
する



転倒事故を防ぐために

こんな時

■雨・風・雪のひど
いときは乗らない



バランスを崩し、転倒の
おそれがあります。

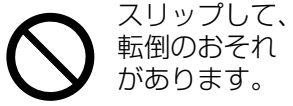
■合図以外は、
ハンドルから
手を離さない



バランスがとりにくく、
転倒のおそれがあります。

こんな場所

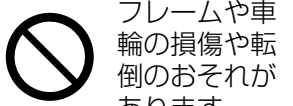
■滑りやすいところ
では乗らない
(積雪や凍結した道、
鉄板やぬかるみなど)



スリップして、
転倒のおそれ
があります。

●降りて、押して歩いて
ください。

■凹凸の激しいと
ころを走らない
(歩道の段差や、溝な
ど)



フレームや車
輪の損傷や転
倒のおそれ
があります。

●降りて、押して歩いて
ください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物
を車輪やギヤに近
接させて乗らない
(長いスカートやマフ
ラー、傘やベットのひ
もなど)



車輪やギヤに巻き込まれ、
転倒のおそれがあります。

■かさやステッキ、
釣りざお等を車体
に差し込んだり、
釣り下げたりして
乗らない



車輪に巻き込んだり、他の
人や物にぶつけて事故や転
倒のおそれがあります。

■土踏まずやかかと
でペダルを踏ま
ない



カーブでつま先が前輪に
あたり転倒するおそれ
があります。

■滑りやすい靴や、
かかとの高い靴、
厚底靴などをは
いて乗らない



ペダルから足が外れ、転
倒のおそれがあります。

■手やハンドルに
荷物をかけたり、
ペットをつなが
ない



荷物やひもが、車輪に巻き込
まれたり、バランスを崩し、
転倒するおそれがあります。

■カーブで曲がる
側のペダルを下
げない



ペダルが地面と接触し、
転倒するおそれ
があります。

こんな使い方

■走行以外に使わ
ない
(踏み台代わりなど)



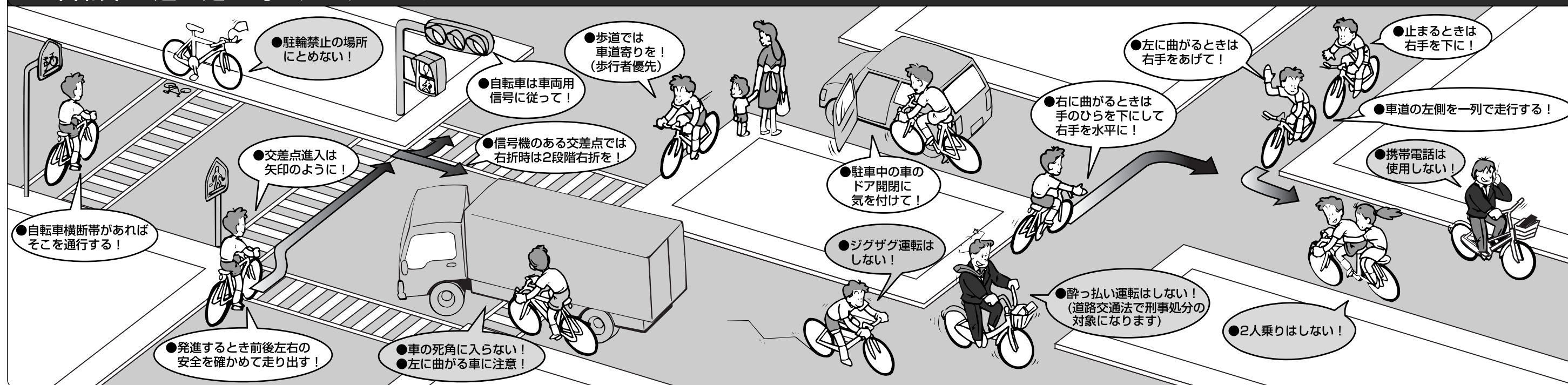
転倒するおそれ
があります。

■スポークの間に
固形物(ボール
など)を入れて
走らない



車輪に巻き込まれて転
倒のおそれがあります。

自転車で道を走る時のルール・マナー



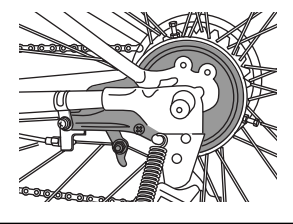
各部のなまえ

乗るまえに

サドル
シートポスト
シートピンレバー
[クイック式]

錠 (後輪サークル錠)
リヤリフレクタ
後どろよけ
スポークリフレクタ
スポークプロテクタ
フリーホイール

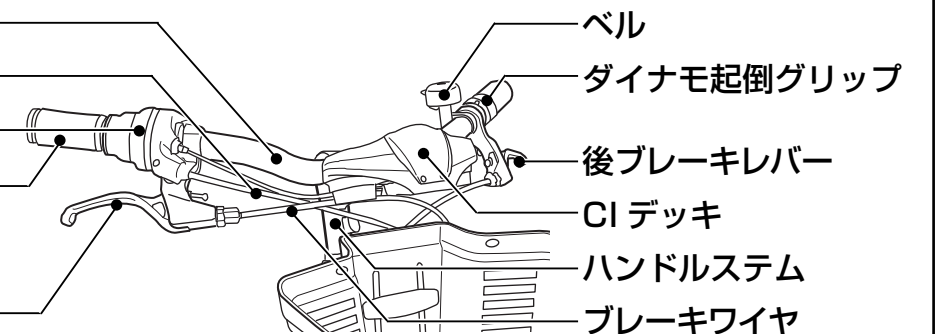
後ブレーキ (左側)



スタンド
リヤディレーラガード
リヤディレーラ
タイヤバルブ
チェーン
ギヤカバー
クランク
ペダル

■ハンドル部

ハンドルバー
変速ワイヤ
シフトグリップ
にぎり (グリップ)
前ブレーキレバー



ベル
ダイナモ起倒グリップ
後ブレーキレバー
CI デッキ
ハンドルステム
ブレーキワイヤ

バスケット
フロントリフレクタ

前どろよけ
前ブレーキ
発電ランプ

スポークリフレクタ
バスケットステー
前ホーク
ハブ
スポーク
タイヤ
リム

■車種品番表示

●車種品番の見方

B-LX26E B

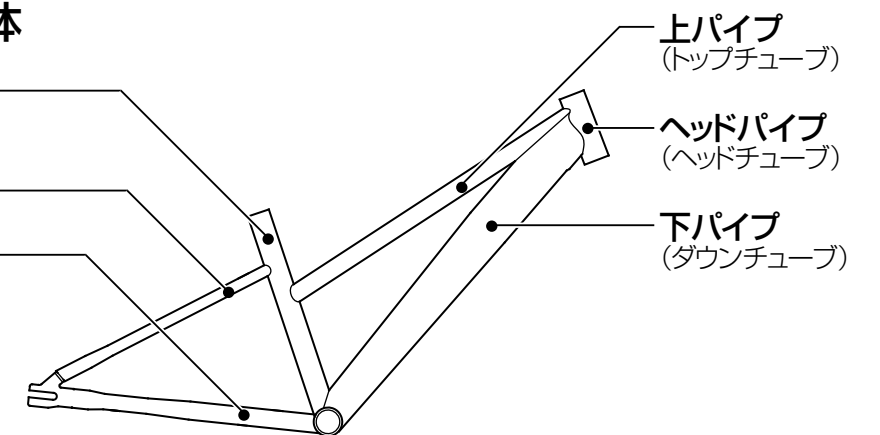
車種品番 色

■車体番号

9 文字(数字と英字)で表示しています。
防犯登録に必要です。

■フレーム体

立パイプ
(シートチューブ)
シートステー
チェーンステー



上パイプ
(トップチューブ)
ヘッドパイプ
(ヘッドチューブ)
下パイプ
(ダウンチューブ)

乗るまえに

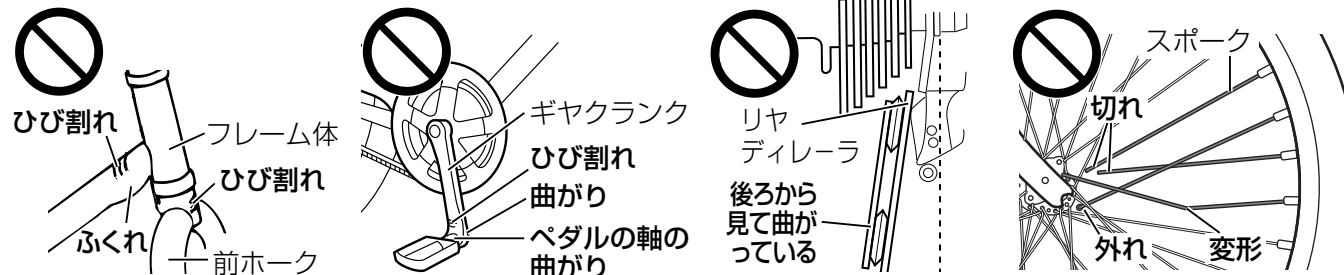
乗るまえの点検

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

警告

■ひび割れや変形したままで走行しない



折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

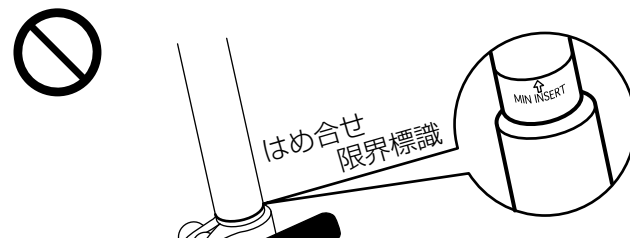
■ハンドルステムのはめ合せ限界標識が、見えるまで上げない



ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■シートポストのはめ合せ限界標識が、見えるまで上げない



シートポストが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

■乗るまえの点検は、必ず実施する。

- 前後ブレーキの効き、作動の点検をする。
- ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検する。
- 前後車輪が、確実に固定されているか点検する。
- 前後タイヤの空気圧が適正か点検する

事故や転倒のおそれがあります。

■点検で異常があったときは、乗車しない

- 事故や転倒のおそれがあります。
- 異常があったときは販売店にご相談ください。

にぎり 〈左・右〉
◎ひび割れはないか？
◎抜けはないか？

ペダル・クランク
◎がたつきは、
ないか？

サドル・シートポスト

- ◎サドルに座って、両足のつま先が、地面に着くか？
- ◎はめ合せ限界標識が、見えていないか？
- ◎シートポストの固定は、確実か？

ブレーキレバー 〈前後とも〉

- ◎よく効くか？
- ◎ワイヤのさびやほつれはないか？
- ・固定は確実か？
- ・作動は円滑か？

ハンドル・ハンドルステム

- ◎固定は確実か？
- ◎はめ合せ限界標識が、見えていないか？

バスケット

- ◎がたつきは、ないか？

フロントリフレクタ

- ◎割れやがたつき、汚れはないか？
- ◎前からの光を反射する角度になっているか？

発電ランプ

- ◎点灯するか？
- ◎がたつきは、ないか？

スポークリフレクタ

- ◎割れやがたつきは、ないか？

どろよけ 〈前後とも〉

- ◎がたつきは、ないか？
- ◎タイヤにあたっていないか？

ベル

- ◎よく鳴るか？

前ブレーキ (ブレーキブロック)

- ◎すりへっていないか？
- ◎異物は付いていないか？

チェーン

- ◎空回りしないか？
- ◎小石等が挟まってないか？
- ◎歯飛びや異音 (バリバリ音等) はないか？
- ◎油切れはないか？

リアリフレクタ

- ◎割れや、汚れはないか？
- ◎後からの光を反射する角度になっているか？

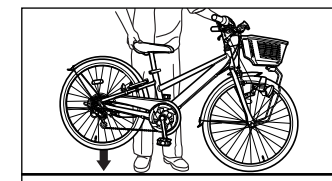
ハブナット

- ◎車輪にがたつきは、ないか？

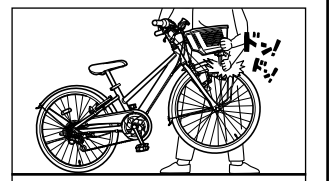
車輪 (前後とも)

- ◎リム …… 振れ、変形はないか？
- ◎スポーク …… 曲がり、折れはないか？
- ◎ハブ …… がたつきはないか？
- ◎タイヤ …… 摩耗、切傷はないか？
異物は付いていないか？
空気圧は適正か？ (13 ページ)

■車輪の締めつけ部品の固定



車輪を 10cm 程度の高さから落とし、車輪などの締めつけ部にがたつきがないこと。(前後とも)



車輪を浮かせ強くたたいても、がたつきがないこと。

乗るまえの調整（1）

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ サドルの調整



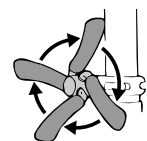
警告

■ はめ合せ限界標識が見えるまで上げない



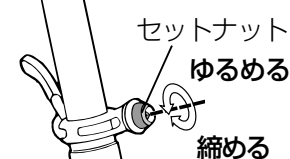
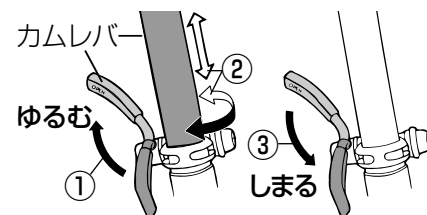
シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

■ カムレバーを回転させて締めつけない

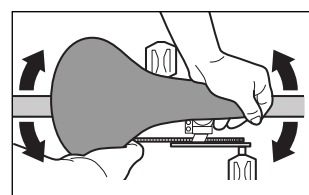
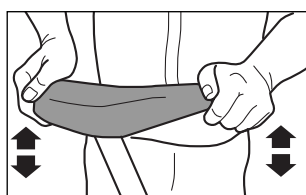


● 高さとの調整

- ①カムレバーを「ゆるむ」の方向に開く。
- ②サドルの高さ、向きを調整する。
- ③カムレバーを「しめる」の方向に閉じて固定する。



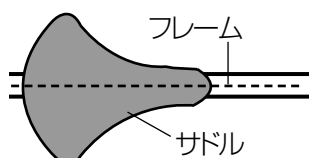
カムレバーを「しめる」の方向に閉じてもサドルが固定できない時は、カムレバーを「ゆるむ」の方向に開いて、セットナットを締めるの方向に0.5～1回転廻し、再度、カムレバーを「しめる」の方向に閉じて、サドルが固定されている事を確認ください。



お願い

- カムレバーを閉じるときの力は、レバー先端に150N（15Kgf）の力で閉じられるようにセットナットを調整してください。

● サドルの正しい方向



フレームと平行に合わせる。

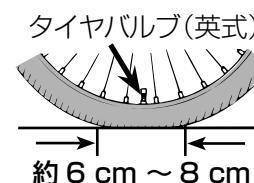
お知らせ

- 角度の調整はできません。

■ 空気圧の調整（前後のタイヤ）

● 適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約6cm～8cm程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
250 kPa～350 kPa {2.5 kgf/cm²～3.5 kgf/cm²} が適正です。



ご注意

- 空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
- 長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
- タイヤバルブの型式は、英式です。
- 本書20ページの「正しい取扱い方法」もご覧ください。

● 空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。

■ 発電ランプの点検



警告

■ ランプの取付がゆるんだまま、走行しない



スポークに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

■ 夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない



衝突や転倒のおそれがあります。
●ランプがつかないときは、押して歩いてください。
無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

● 照らす位置

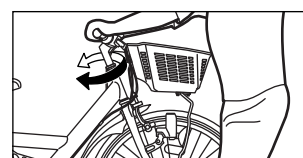


お願い

- 角度の調整は販売店にご相談ください。

■ ハンドルの調整

● ハンドルの高さ



左右に強く力を加えても、動かないこと。

お願い

- ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

乗るまえの調整 (2)

■ブレーキの調整



警告

■ロックナットは確実に締め付ける

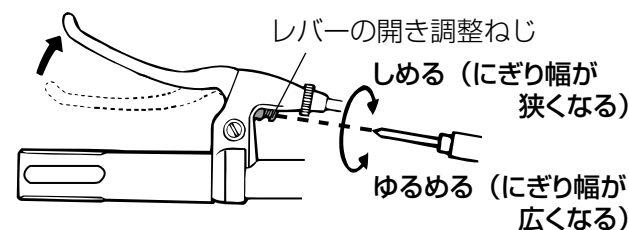
！ ブレーキの調整が狂い、転倒や衝突の原因になります。

■ブレーキレバーの遊びが大きのまま走行しない

● 転倒や衝突の原因になります。
● ブレーキレバーの遊びが大きくなると、ブレーキが効かなくなり危険です。

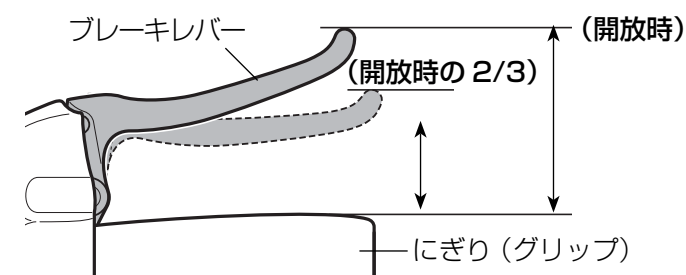
●ブレーキレバーの開き調整

手の握り幅に合うように、調整ねじを回して調整してください。



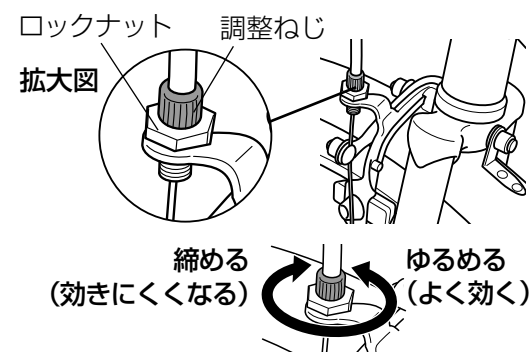
●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 の位置で、ブレーキが効くように、調整してください。



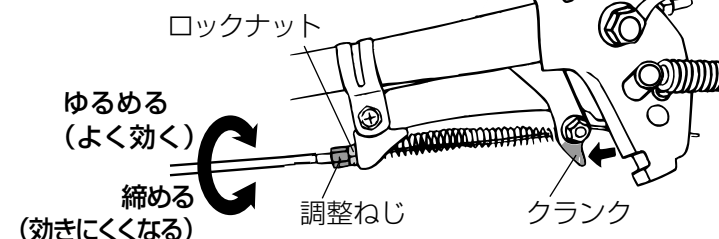
●前ブレーキの調整

- ① ロックナットをゆるめる。
- ② 調整ねじを回す。
- ③ 走行してブレーキの効きを確認する。
- ④ 調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締めつける。
締付トルク (1 ~ 2) N·m
{(10 ~ 20) kgf·cm}



●後ブレーキの調整

- ① ロックナットをゆるめる。
- ② クランクを押しながら、
- ③ 調整ねじを回す。
- ④ ブレーキの効きを確認する。
- ⑤ 調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締めつける。
締付トルク (1 ~ 2) N·m
{(10 ~ 20) kgf·cm}



お知らせ

● 雨や水がかかったり、湿気により、ブレーキをかけた時に音が出ることがありますが、異常ではありません。

正しい取扱い方法 (1)

■錠について (後輪サークル錠)



警告

■長いキーホルダーをつけない

● スポークに巻き込んで転倒するおそれがあります。

■後輪サークル錠は走行中に作動させない

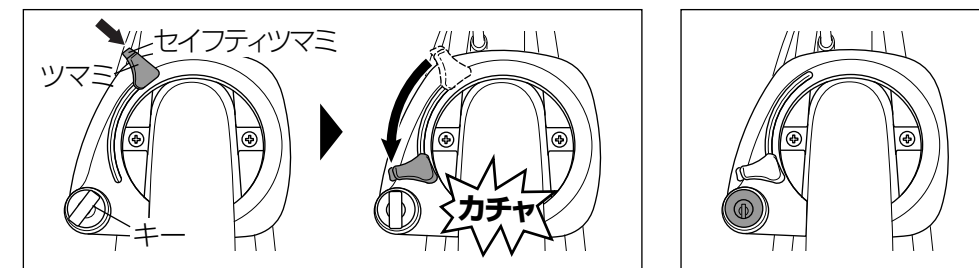
● 車輪がロックされ転倒するおそれがあります。

お願い

- キーは、紛失しないよう大切に保管し、キー番号は控えておいてください。
(保証書および、本取扱説明書 23 ページのキー番号欄に記入しておかれることをお勧めします。)
- キーを紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。(有料)
その際には、保証書とキー番号が必要ですので、必ずご持参願います。
- キーをさした状態で上下に強く押さないでください。(キーが曲がり、操作できなくなります。)

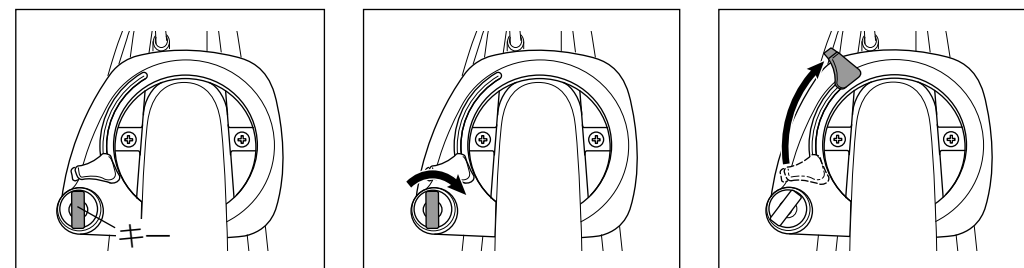
●施錠方法

- ① セイフティツマミを押しながら「カチャ」と音がするまで下に押す。
- ② キーを抜く。



●開錠方法

- ① キーを差す。
- ② キーを時計方向に回す。
- ③ ツマミは自動的に上へ戻り、キーはキー穴から抜けなくなる。



お知らせ

● この時ツマミが勢い良く戻りますのでご注意ください。

正しい取扱い方法 (2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■変速のしかた



警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度 8 km/h ~ 12 km/h
衝突や転倒による事故の原因になります。

■変速は、一度に2段以上しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒するおそれがあります。
●1段ずつ変速してください。



注意

■漕ぐ力を抜いて、ペダルを空転気味に軽く回転させながら変速操作をする

間違った変速操作をすると事故や故障の原因になります。
●初めて変速機を使われる人は、よく練習してください。

■次のような変速はしない

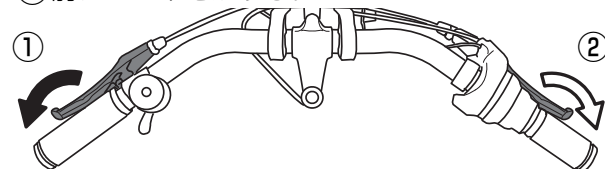
●ペダルを止めたままの変速
●一気に2段以上の変速
●停止しているときの変速
●ペダルを逆転させながらの変速
●ペダルを強く踏みこみながらの変速
●シフトグリップを無理に回転させる変速
事故や故障の原因になります。

お願い

- 変速操作は、よく練習してください。
- スムーズに変速ができるか確認し、調子が悪いときは販売店にご相談ください。

■ブレーキのかけかた

- ①後ブレーキを先にかけてから
- ②前ブレーキをかける。



お願い

- 急な坂道ときは、降りて押してください。
- 下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
- 下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がすぎないように走行してください。
- 急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。



警告

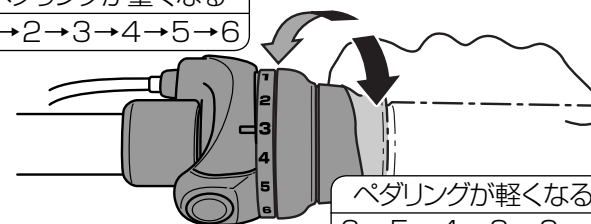
■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒するおそれがあります。

●シフトグリップ表示とギヤの位置

●右グリップ (後変速機 / 6段)

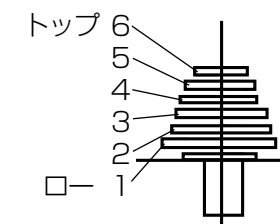
ペダリングが重くなる
1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6



ペダリングが軽くなる
6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1

●後ギヤ (後変速機 / 6段)

ペダリングが重くなる
1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6
下り坂・追い風
上り坂・向い風
ペダリングが軽くなる
6 → 5 → 4 → 3 → 2 → 1

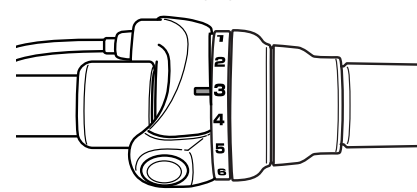


平地を走るとき



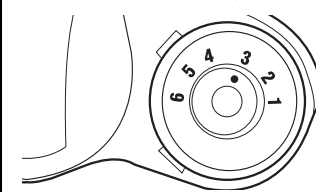
外装6段シフトグリップ

3または4の位置にあわせる。



C I デッキ

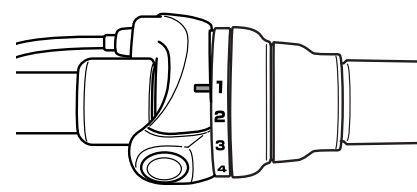
3または4の位置にあわせる。



上り坂のとき

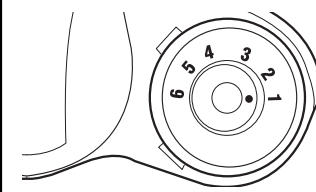


坂の手前で...
1または2の位置にあわせる。



●急な坂道るとき ⇒ 降りて押す。

坂の手前で...
1または2の位置にあわせる。

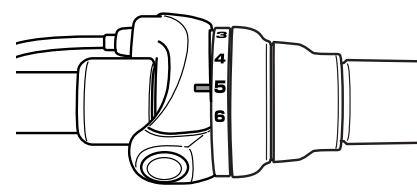


●急な坂道るとき ⇒ 降りて押す。

下り坂のとき

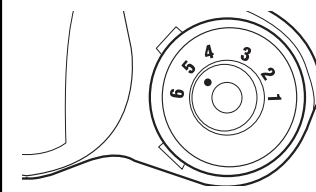


坂の手前で...
5または6の位置にあわせる。



●急な坂道るとき ⇒ 降りて押す。

坂の手前で...
5または6の位置にあわせる。

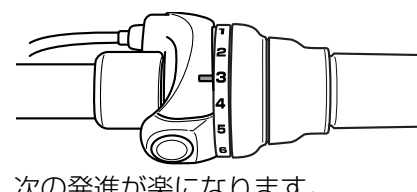


●急な坂道るとき ⇒ 降りて押す。

停止するとき

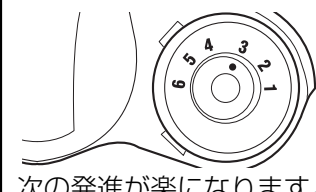


停止するまでに...
3または4の位置にあわせる。



次の発進が楽になります。
●後ブレーキを先にかける。
●駐輪禁止の場所には駐輪しない。

停止するまでに...
3または4の位置にあわせる。



次の発進が楽になります。
●後ブレーキを先にかける。
●駐輪禁止の場所には駐輪しない。

●変速機は、坂や風の状態、体調等によって、最適の変速位置を選んでください。

正しい取扱い方法 (3)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ ダイナモ式発電ランプの取扱い

⚠ 警告

■ 発電ランプやダイナモの取付がゆるんだまま、走行しない

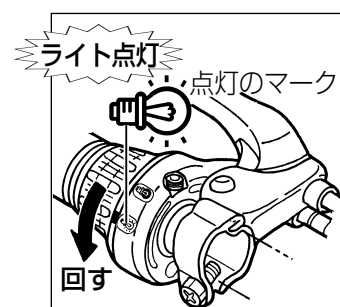
スポークに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。
●乗る前に点検してください。

■ 夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒するおそれがあります。
●ランプがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

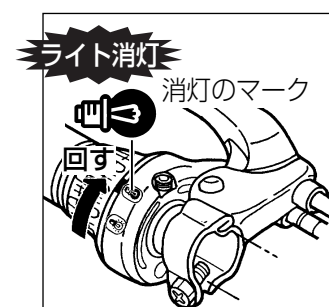
● 点灯のしかた

発電ランプを点灯する時



ダイナモ起倒グリップを点灯のマークの位置まで回すとダイナモのローラーがタイヤに接触します。

発電ランプを点灯しない時

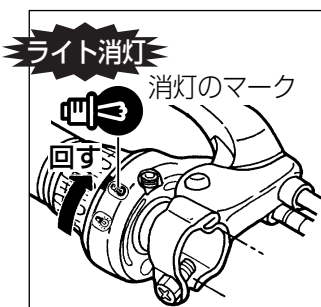


ダイナモ起倒グリップを消灯のマークの位置まで回すとダイナモのローラーがタイヤから離れます。

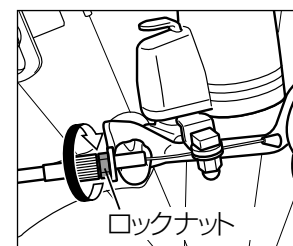
● ワイヤの調整方法

ダイナモ起倒グリップを消灯のマークの位置にしてもダイナモがタイヤから離れない場合は、下記方法にてワイヤを調整してください。

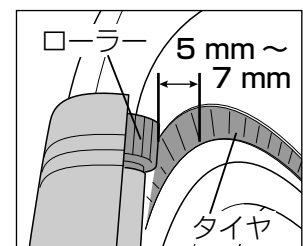
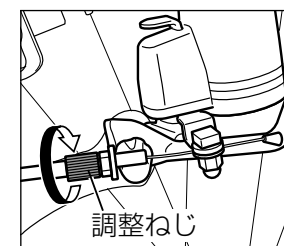
① ダイナモ起倒グリップを消灯の位置にする。



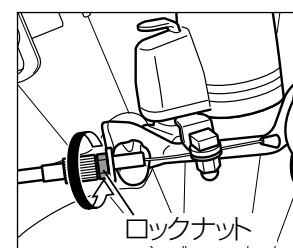
② ロックナットをゆるめる。



③ 調整ねじを反時計回りに回して、タイヤとローラーとのすき間を5 mm ~ 7 mmに調整する。



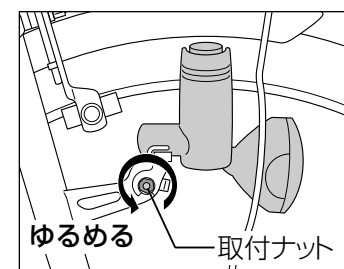
④ 調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分締めつける。



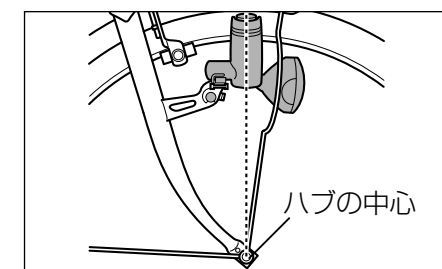
締付トルク (1 ~ 2) N·m
{(10 ~ 20) kgf·cm}

● ダイナモの向き調整

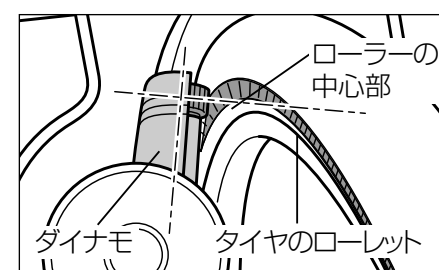
① 取付ナットをゆるめる。



② ダイナモの回転軸を、ハブの中心に向ける。



③ ダイナモのローラーの中心部をタイヤのローレットに接触させる。



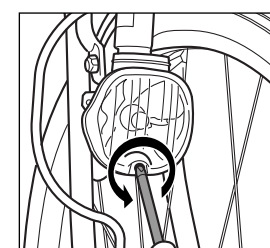
④ 取付ナットを締める。



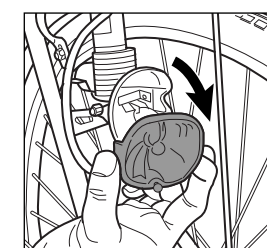
締付トルク
(6.5 ~ 9.5) N·m
{(65 ~ 95) kgf·cm}

● 電球の交換方法 (販売店に依頼されることをお勧めします。)

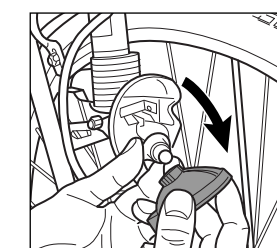
① ⊕ドライバーでねじを外す。



② カバーとレンズを外す。



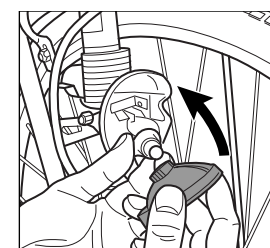
③ レンズからソケットを外す。



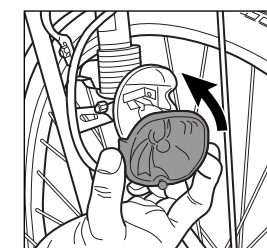
④ 電球を交換する。



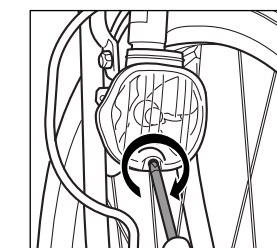
⑤ レンズにソケットを取付ける。



⑥ カバーとレンズを取付ける。



⑦ ⊕ドライバーでねじを締める。



※電球仕様
6V - 2.4W ダイヤ球

■ バスケットについて



警告

■ 積載条件から外れる荷物を積まない



〈バスケット積載条件〉

●大きさ：バスケットにおさまる大きさ

●重さ：1 kg まで

バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

■ タイヤについて



注意

■ 走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検する



パンクの原因になります。

■ タイヤの空気圧は 250 kPa {2.5 kgf/cm²} 以下では使用しない



タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。

お願い

- ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。

お手入れ

■ 日常のお手入れは、

- 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。



■ 汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。注油禁止場所には注油しないでください。（ 22 ページ）

■ 塗装部（フレーム体など）

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■ めっき部

乾いた布でよくふいたあと、「サビ止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■ 樹脂部（バスケット、どろよけなど）

乾いた布でほこりをとってください。

■ 湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■ アルミリム使用車

雨天走行後は、前リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。（黒く変色するのを防ぎます。）

お知らせ

- シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。）
- サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、すべります。）

保管／廃棄

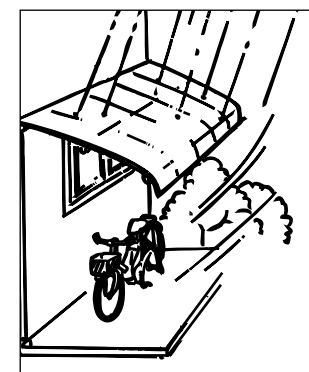
■ 保管場所は、

雨がかかりにくい場所に保管してください。

雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。

■ 廃棄するときは、

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。



注 油について

注 油

警告



リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油をつけない

注油禁止

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒のおそれがあります。

●



このマークは、注油場所を示します。

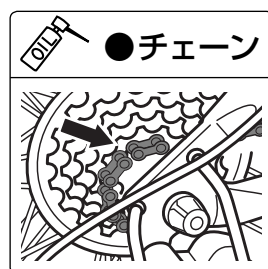
●



このマークは、注油禁止場所を示します。

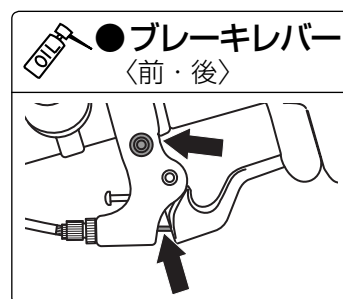
お願い

- 油の種類は、必ず、防錆潤滑剤を使用してください。（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
- 余分な油は乾いた布でふき取ってください。



●チェーン

クランクを回しながら注油し、余分な油は、ふき取る。（ほこりがつきやすくなるのを防ぎます。）



●ブレーキレバー 〈前・後〉

レバーの可動部とワイヤの固定部に注油。（ワイヤがさびて、切れやすくなるのを防ぎます。）

お願い

- 余分な油は、乾いた布でふき取ってください。



後ブレーキ

注油禁止



前ブレーキ （ブレーキブロック）

注油禁止



リム〈前・後〉

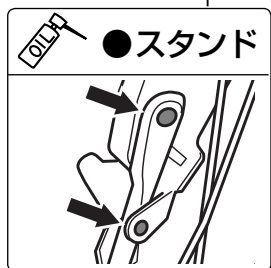
注油禁止



タイヤ〈前・後〉

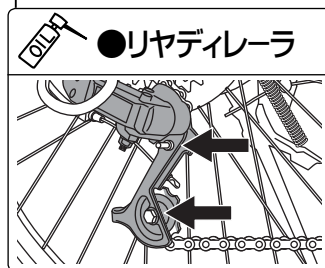
注油禁止

ついた油は、すぐふき取る。（ひび割れなど老化を防ぎます。）



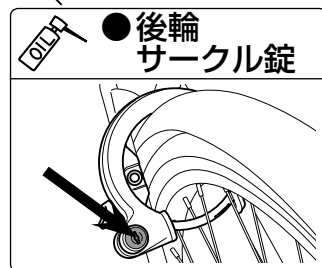
●スタンド

スタンドの裏側のカシメ部分に注油。（ロック機能に支障をきたすのを防ぎます。）



●リヤディレーラ

可動部とプーリーに注油。



●後輪 サークル錠

キー穴に注油。（さびによる動作不具合を防ぎます。）

定期点検

定期点検

点検と整備は、パナソニック自転車の大切な健康診断です。

いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2ヵ月目）点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回（2ヵ月目）の点検と整備

お買い上げ2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。

必ず、お買い求めの販売店又は修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

●2回目以降（6ヵ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

警告

定期点検は、必ず実施する



異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

部品の交換は、次の基準で実施する



- ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換する。
- タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
- ブレーキブロックは、溝の残りが、1mmになる前に交換する。
- ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

愛情点検

定期点検をし、安全走行をしましょう！



こんな症状はありませんか

- 異常音がする
- がたつきやゆらみ
- 車輪の振れ
- ブレーキの効が悪い

お願い

- 点検・整備は、お買い上げの販売店で行ってください。

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電 話 () -
品 番	車体番号
キー番号	防犯登録番号

盗 難 補 償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より 1 年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から 1 年間以内の自転車（別売部品等を含む装着部品の盗難は除く）かつ、盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限りです。

(2) 盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバー又は盗難届出証明書等）に、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。
追って、販売店から新車をお渡します。

(3) 盗難補償できない場合

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| イ. (2) の書類がそろわない場合 | ロ. 補償期間が過ぎている場合 |
| ハ. 盗難補償車が、再度、盗難にあった場合 | ニ. 防犯登録がされてない場合 |
| ホ. 盗難車が見つかり、返ってきた場合 | ヘ. 景品などの贈呈品の場合 |

お知らせ

- 生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
- 新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

アフターサービス（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、

お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。
おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。

●保証期間が
過ぎた後は、

お買い上げの販売店にご相談ください。

自転車安全基準

「自転車安全基準」は、（社）自転車協会が JIS（日本工業規格）をベースに、DIN（ドイツ規格）など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制（RoHS 指令）を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

BAA マーク



「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。

「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。

※ BAA＝自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

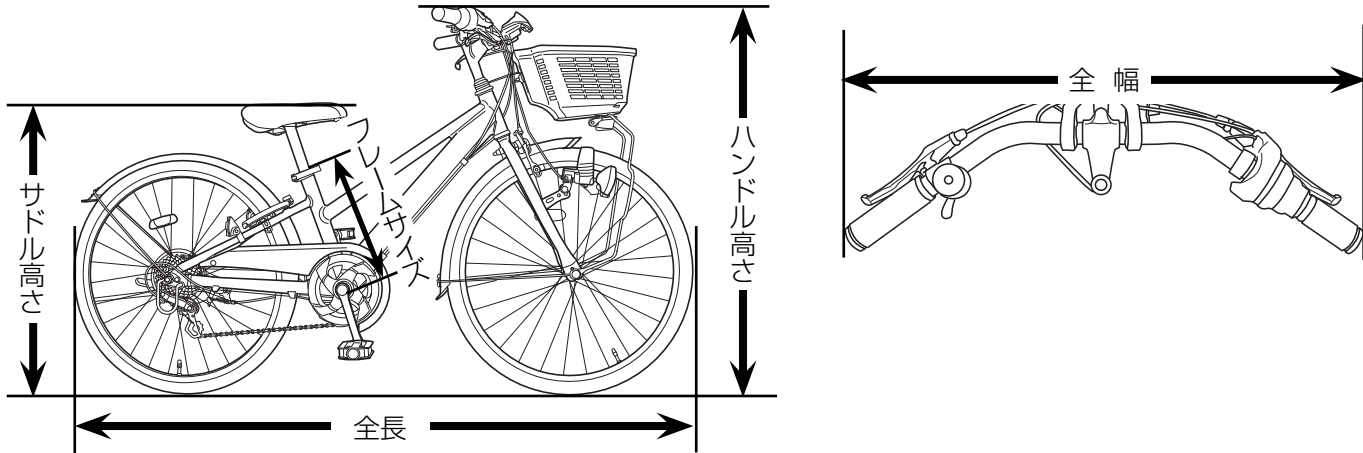
必要なとき

必要なとき

品 番		B-LX26E	B-LX46E	B-LX66E
寸 法	フレームサイズ	285 mm	315 mm	310 mm
	全長	1,511 mm	1,589 mm	1,730 mm
	全幅	550 mm	550 mm	550 mm
	ハンドル高さ	825 mm ～ 860 mm	845 mm ～ 880 mm	875 mm ～ 910 mm
	サドル高さ	578 mm ～ 707 mm	614 mm ～ 742 mm	631 mm ～ 759 mm
フレーム		ダイヤモンド型		
ハンドルバー		オールランダー		
バスケット		樹脂製		
錠		後輪サークル錠		
発電ランプ		セミブロックダイナモ付きランプ (6V—2.4W)		
変速機		外装 6 段グリップ式		
どろよけ (前・後)		樹脂製どろよけ		
オプション		なし		
リム		22 × 13/8 WO アルミ 28H	24 × 13/8 WO アルミ 36H	26 × 13/8 WO アルミ 36H
タイヤ (前・後)		22 × 13/8 WO	24 × 13/8 WO	26 × 13/8 WO
乗車適応身長		113 cm 以上	120 cm 以上	124 cm 以上
質量		13.6 kg	14.2 kg	14.5 kg

- 乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
- 寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更等により、誤差が生じる場合があります。
- この車種は、乗員体重を 40 kg で基本設計しています。
従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなります。

■寸法について



必要なとき